



ほたる

片山津小学校 学校だより
令和7年3月 第421号
校長 大下 美穂



学校ホームページではカラーでご覧いただけます。

ありがとう 6年生！

日々の学習活動は、片山津小学校 HP で随時紹介しています。ぜひ「お気に入り」に入れてご覧ください。

全校で、「6年生を送る会」を行いました。今年の6年生は35名。送る会では、それぞれの学年がクイズやダンス、歌などを披露し、6年生への感謝の気持ちを表現しました。5年生は、送る会の企画や運営に向けて、休み時間も一生懸命にがんばっていました。次期6年生としてがんばる姿に期待大です。1～4年生は、学年のカラーを出して、クラスで力を合わせて練習から気合が入っていました。6年生にみんなの思いが伝わっていると嬉しいですね。

送る会が終わると、6年生にとっては、いよいよ「卒業」という二文字が大きくなってきます。6年生には、最後の1日まで、「自分を成長させられるのは自分だけ」という言葉をかみしめて、このメンバーで過ごす残りの小学校生活を、楽しみながら過ごしてほしいと思っています。

2/21 6年生を送る会



【プログラム】

1年 クイズ・歌

ありがとうの花

2年 コント・ダンス

想いでの学校あるある

3年 クイズ・歌・合奏

3年生ふりかえりクイズ！

【プログラム】

4年 劇・クイズ

6年生は覚えてる？思い出クイズ

5年 クイズ・ダンス

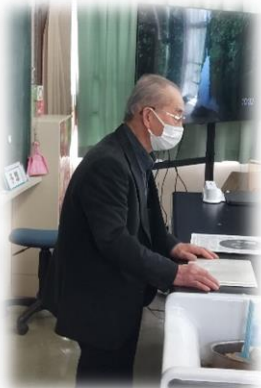
片小クイズ・ダンス

6年 クイズ・歌

ありがとう片小



2/14 6年生「立春の卵立て」検証



片山津商工会の柳場さんを講師として迎え、片山津ゆかりの雪博士である中谷宇吉郎博士の実験を検証しました！片山津商工振興会の皆様、温泉卵のご寄贈ありがとうございました。



「立春でなくとも卵は立つはず」というような常識を疑う目も、時には必要！真剣さと立った時の歓声が印象的でした。

5年生 2/27 下口さんお礼の会 & 3/6 キャリア教育授業

米作りでお世話になった下口さんをお招きして、学びの発表と手作りおにぎりで、感謝の気持ちを伝えました。



片山津小学校の卒業生である、世界的に活躍される九谷焼作家の見附正康さんを講師にお招きし、「わが校の先輩に学ぶ」授業が行われました。前任の中田校長先生と5年保護者の岡本さんが中心となり、この企画を考えてくださいました。お二人とも中田先生の教え子ということです。見附さんの仕事への思いを聞き、作品を鑑賞し、質問もたくさんして、5年生は「自分の今、これから」を考えるよい機会となりました。子どもたちの心を動かす授業をありがとうございました。

校長室から

6年生を送る卒業式まであと数日と迫ってきました。学校内が卒業式ムードに一色に染まる時期です。そして、1~5年生も今の学年の終わりを迎えようとしています。この1年、片山津小学校がみんなの成長の場となっていたら嬉しいです。学校が楽しく大好きな居場所となるよう、教職員も子どもたちも試行錯誤を試みしました。そして、「WE LOVE 片小!」と何度みんなで叫んだことでしょう。

学校は、1年ごとや学期ごとの節目がはっきりしています。だから、気持ちを新たに切り替えることができるチャンスが多いところだと思います。2学期末から、学校に伴走に入ってくださった市教育委員会の佐々木プロジェクトマネージャーが、「自分を成長させられるのは自分だけ」と、自律した学び手になるためのレクチャーの中で子どもたちに語っていました。「何のために学ぶのか」この命題を、小学生のときから考え、自分の学びに向き合っていくこと、失敗しながら自己調整し、学習経験を積み重ねていくことの大切さを教えてくださいました。

片小の学びの進化は、これからも続いていきます。つながり合って成長できる「学校」の役割は大きいです。そんな学校を、今年度も支えてくださいました保護者や地域の皆様の温かいお心に、心より感謝申し上げます。

